

使用製品

歯 - 根管ポスト - ファイバー強化型レジン - MultiCore Flow

MultiCore (日本未導入)

Core build-up in vital and non-vital teeth.



オプトラダム

治療部位を防湿するための3Dラバーダムです。



トータルエッチ

37%リン酸エッチング材です。流れにくいジェルで、塗布した箇所にしっかり留まります。



モノボンドプラス

どの修復物表面にも使用できるユニバーサルタイプのプライマーです。



エキサイト F DSC

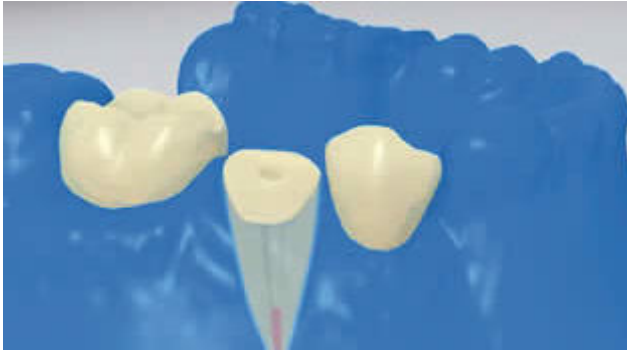
エキサイト F DSC – Dual cure Single Component –は、デュアルキュア型、1液性、トータルエッチタイプのボンディング材で、フッ素徐放性があります。



フローチャート MultiCore Flow

歯 - 根管ポスト - ファイバー強化型レジン - MultiCore Flow

1 装着前



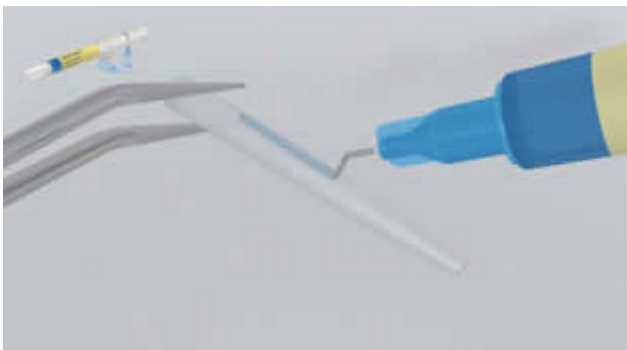
治療部位の防湿は必要不可欠です。オプトラダムで行うか、防湿用パッドあるいは排唾管を使用し簡易的に行います。

2 ポストの試適

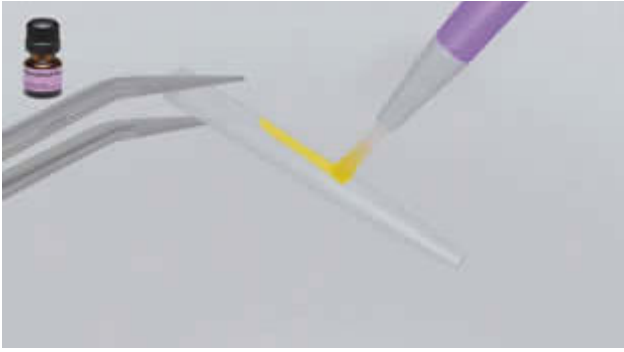


ポストを試適します。ポストが長い場合、回転切削器具を使用し、口腔外で調節します。

3 ポストの前処理

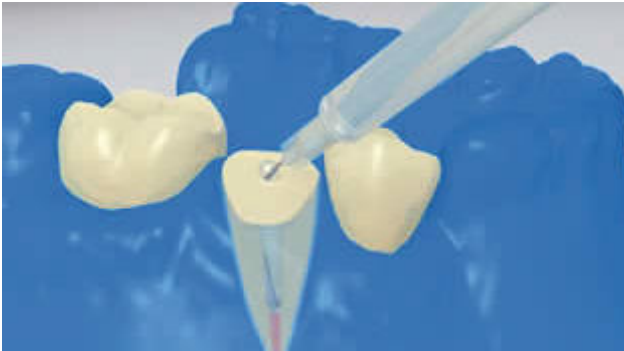


FRC Postec Plus (日本未導入) is cleaned with phosphoric acid (e.g. **Total Etch**) after Try-In. The etching gel is allowed to react for 60 sec. Then, it is thoroughly rinsed off with water and the post is dried. Other glass-fibre posts have to be conditioned acc. to the directions of the manufacturer.

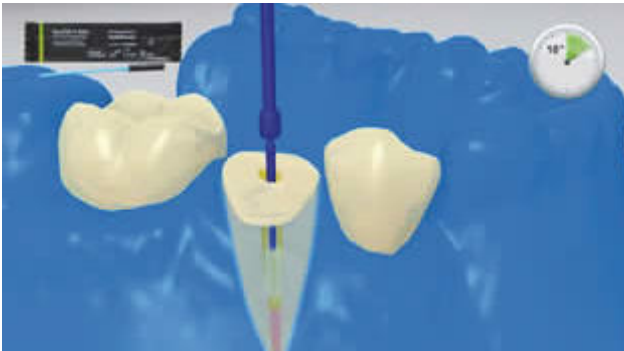


モノボンドプラスをブラシあるいはマイクロブラシで塗布します。60秒間反応させ、その後、強圧のエアで余剰を拡散します。

4 根管の前処理とボンディング材の塗布



最後に、処理した根管を消毒し、ペーパーポイントで乾燥します。



支台歯の根管内と接着歯面をエッチング後、エキサイト F DSC をエンドブラシで10秒間塗布します。余剰のボンディング材は、ペーパーポイントを使用して根管内から除去します。

5 MultiCore Flow (日本未導入) is applied



The root post prepared according to the instructions of the manufacturer is coated with mixed **MultiCore Flow** (日本未導入) . Furthermore, MultiCore Flow (日本未導入) can be placed directly in the root canal using Intra Canal Tips.

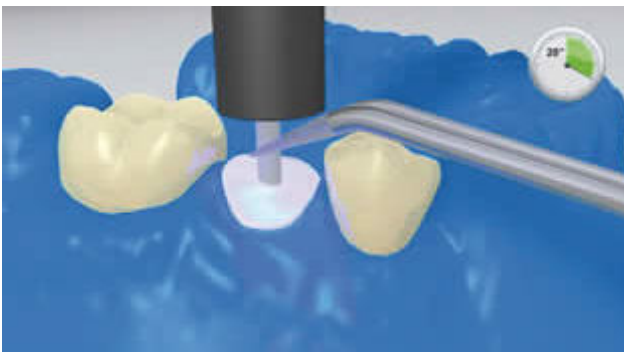
6 ポストの装着



ポストを挿入し、余剰セメントを押し出します。

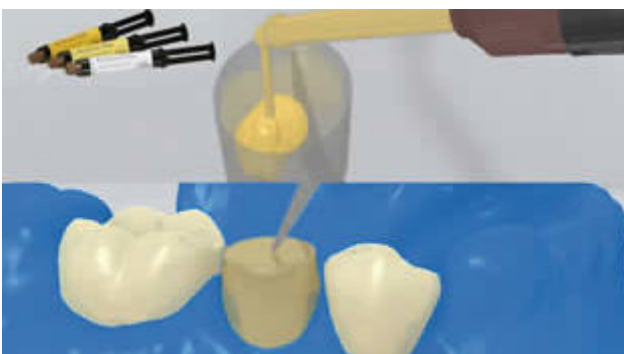
The cement can be distributed across the entire preparation surface for total coverage.

Next, **MultiCore Flow** (日本未導入) is light-cured for 20 seconds.



この間、光重合しポストを適切な位置で支持します。オペーク色の材料、つまり不透過性の材料には、化学重合による硬化をお勧めします。

7 支台築造



支台築造材をコーピングに充填します。象牙質にも支台築造材を少量塗布し、コーピングを装着します。



支台築造材をその材料メーカーの指示に従い重合します。

8 フェルールの状態により築造したコアを形成します



コーピングをはずし、築造されたコアをフェルール形態を考慮して形成します。